

新たなクールジャパン戦略の検討

内閣府知的財産戦略推進事務局

2019年6月6日



Japan. Cool Japan.

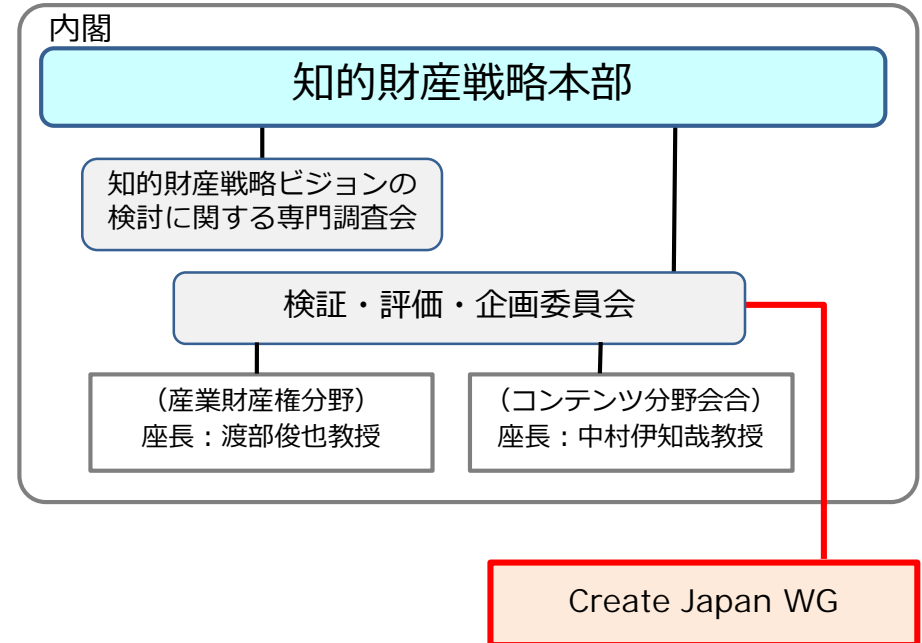
1. Create Japan WGについて
2. クールジャパンのこれまでの取組
3. クールジャパン政策の評価と課題
4. 新たな戦略策定に向けた検討事項

1. Create Japan WGについて

Create Japan WGの設置目的

趣旨

「検証・評価・企画委員会の運営について」（平成25年11月5日知的財産戦略本部検証・評価・企画委員会座長決定）に基づき、知的財産推進計画に位置づけられているクールジャパンの推進のため、Create Japan ワーキンググループを設置。



目的

世界の視線を起点としつつ、日本人及び外国人の協働の下で日本の魅力を発掘し、発信するなどにより世界からの共感を得るための方策について、必要な議論を行う。

※ 議論は、チャタムハウスルールにて行う。

WGの委員（12名）

クールジャパンについてこれまでの取組で得られた知見や外国人の視点を取り入れることも考慮しつつ、12名の委員を選定。

アストリッド・クライン	クラインダイサムアーキテクト 代表
ダニー・チュー	スマートドール株式会社 代表
コチュ・オヤ	株式会社Oyraa 代表取締役社長
シーズンクラム・カオ	株式会社MATCHA インバウンド戦略部 統括マネージャー
ニック・サーズ	有限会社 フクオカナウ 代表取締役
ローレン・ローズ・コーカー	ZAICO株式会社 取締役COO 兼 FUGA Japan Business Development Representative
梅澤 高明	A.T.カーニー 日本法人会長
楠本 修二郎	カフェ・カンパニー株式会社 代表取締役社長
佐藤 一毅	国際オタクイベント協会 代表
田中 里沙	事業構想大学院大学 学長
中村 伊知哉	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授
夏野 剛	慶應義塾大学 政策・メディア研究科 特別招聘教授

戦略策定までのロードマップ（イメージ）

6月

第1回

- WGの趣旨及び進め方
- 新たなクールジャパン戦略の基本的な考え方（1～2回）

第2回

- 各論についてディスカッション（2～3回に分けて実施）
 - ・ 日本の魅力の深堀り・本質
 - ・ 横連携のネットワーク
 - ・ 日本ファン増加のシステム
 - ・ 表彰など関係者を惹きつける気運の醸成
 - ・ ストーリーの活用など、伝えるための取組

等

第3回

第4回

第5回

- 新しいクールジャパン戦略の骨子について
（知財事務局案をもとにディスカッション）

7月

7月上旬～中旬

親委員会において、戦略の骨子を了承

7月下旬以降

知的財産戦略本部において、クールジャパン戦略を決定

新しいクールジャパン戦略に基づく、施策の実施